

夏の学習会

3学年は8月6日から16日まで拡大自主学習会を開いた。これまで大会議室で放課後続けてきた学習会を、視聴覚室も確保し、再度学年全体に参加を呼びかけた。時間は8:20~4:40。50分刻みで休憩。けじめをつけるため、休憩時間以外の入退室や昼食時間以外の飲食は禁止、居眠り禁止、参加は制服で、と細かく決めた。参加者は6日から、33人、39人、38人、45人、38人、44人、49人、50人、30人、35人、47人であった。お盆を挟む期間であり、エクセルシア祭の準備や、家庭の用事、自宅や他の場所での学習を選択した生徒もいて、途中から入退室した者もいたのので、一回でもこの学習会に参加した者も含めると70~80名が参加したことになる。この学習会を監督していて考えたことを書く。

まず、効果的に学習できる姿勢とは、教材全体を正面から見渡し、考え、書き込み、必要に応じて辞書や参考書をめくり、調べ、書き取る等の行動がスムーズにできる姿勢ということになる。ある有名予備校は、入学当初すぐには授業に入らず、まず自学自習の徹底訓練を行う。ルールは五つ。「①居眠りしない②足を組まない③頬づえをつかない④ふんぞり返って座らない⑤タオルを使わない」である。①は分かるとしても、②はなぜだろう。予備校職員の説明によると、足を組むと、上体の体制が不安定になり、機能的な学習ができないのだという。体型にもよるが、確かに足を組むと上に乗せた足が邪魔で、本のページをめくったり筆記用具を扱ったりがしづらくなる。上体が傾くので頬杖をつくことにもなる。ましてや④はなおさらである。最後に⑤だが、なぜか、タオルを自習室に持ち込む生徒は、タオルを枕代わりに居眠りを始めることが多いのだそうである（体育系の生徒に多いとのこと）。

次に、一言も口を利かず、飲食・携帯禁止で学習に集中し続けるのはつらいことであろうにもかかわらず、自ら望んで学習会に参加した生徒は皆、上記の①~⑤の条件を、全てクリアしていたということである。私語をするなど注意する必要もなかった。各自で時間になれば学習を始めていたので学習開始の合図や号令も必要なかった。自発的に消しゴムのかすを集めちり箱に持っていくという場面も見られた。やはり人間、真剣に取り組めば、自ずと同じような姿勢になるものだ。スポーツや稽古事、日常の立ち居振る舞いでも姿勢やマナーを厳しくしつれたりすることがあるが、結局それは、合理的で機能的な根拠に基づいたものである。結果として、ふんぞり返ったり足を組んだりする姿勢は横着に見えるということになる。先の予備校も、「逆もまた真なり」ということで、まず姿勢を先に叩き込んで指導に入ろうという意図なのだろう。

最後に、嬉しい副産物が出てきたことを上げておく。あの学習会以来、静かに自学自習できる場所を求める生徒が出てきたことだ。私のところに視聴覚室を再度開放するよう交渉したりして、頼もしく思っている。努力は人を裏切らない。頑張れ。

K

週行事予定表（8/29~9/7）

月	日	曜	行 事 予 定	備 考
8	29	月		8:20 登校
	30	火		8:20 登校
	31	水		8:20 登校
9	1	木		8:20 登校
	2	金	エクセルシア祭 文化の部	8:20 登校
	3	土	エクセルシア祭 文化の部 体育の部準備	8:20 登校
	4	日	エクセルシア祭 体育の部	8:20 登校
	5	㊟	代休日（体育の部予備日①）	
	6	㊠	代休日（体育の部予備日②）	
	7	水	普通授業 課外再開 特別講演会 進路集会	7:25 着席 A

